

子ども施策における子ども及び関係者の意見反映 「こども基本法」より

(こども施策に対するこども等の意見の反映)

第十一条 国及び地方公共団体は、こども施策を策定し、実施し、及び評価するに当たっては、当該こども施策の対象となるこども又はこどもを養育する者その他の関係者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

**○計画策定における子ども・若者、関係者の声を聴く取り組み（下記の手法で実施）**

「未来を担う子どものための区民基礎調査」にて子ども・若者自身に対するアンケートを実施
(昨年度実施)

子ども関係の支援団体に対し、子どもの支援の現状や課題などについてのアンケートを実施
(8月～9月)

声が聴かれにくい子ども・若者に対し、アンケートやヒアリング等を実施(9月～10月)

子ども用の計画概要版に対して、小中学校の児童・生徒等から意見を募集【子どもパブコメ】
(9月～10月)

「区民基礎調査」で子ども・若者から寄せられた意見

区民基礎調査(小5～18歳の子ども)から寄せられた区や大人への要望・自由意見

小学校5・6年生

主な意見	件数
ボール遊びができる公園を増やしてほしい	22
タバコやゴミのポイ捨てをやめてほしい	11
自然を増やしてほしい	3
ショッピングモールを増やしてほしい	3
飲食店を増やしてほしい	3
図書館の本を増やしてほしい	等各1
駄菓子屋を増やしてほしい	
信号の無い横断歩道の安全対策をしてほしい	
銭湯を支援してほしい	

中学生

主な意見	件数
公園でボール遊びができる場所が欲しい	14
飲食店やカフェを増やしてほしい	7
ゴミ箱を増やしてポイ捨てを減らしてほしい	6
大型ショッピングモールを作ってほしい	5
街灯を増やして夜道を明るくしてほしい	4
不審者対策の見回りを強化してほしい	4
交通手段をもっと便利にしてほしい	3
学校の教科書をタブレットにしてほしい	3
学校の先生への対応への要望 / 先生の給料を上げてほしい	2
無料で勉強できる場所が欲しい	2

高校生(相当)

主な意見	件数
ショッピングモールを作ってほしい	7
ゴミのポイ捨てをやめてほしい	6
歩きタバコをやめてほしい	5
高校生の遊び場を増やしてほしい	4
大学の費用を負担してほしい	3
自習室や勉強スペースを増やしてほしい	3
治安を改善してほしい	3
交通機関を充実させてほしい	3
最低賃金を上げてほしい / 親の給料を上げてほしい	3
動物保護を強化してほしい	2
医療の支援や健康事業を強化してほしい	2

子どもに関わる団体への意見聴取

実施方法

区内の子どもや子育て世帯に関わる活動を行っている団体に対し、活動の中で把握している子どもや子育て世帯の状況、困難な課題を抱える子どもへの支援のあり方などについて、アンケートやヒアリングを実施

実施団体

	カテゴリ	実施団体
1	妊婦・出産支援団体	助産師会
2	障害児通所施設	放課後等デイサービス連絡会
3		児童発達支援施設連絡会
4		鹿本学園保護者(医ケア団体)
5	子ども食堂運営事業者	えどがわっ子食堂ネットワーク
6	外国人子ども支援団体	外国語ボランティア江戸川
7	子どもの遊びに関する団体	子ども会
8	社会的養護施設運営者	自立援助ホーム えどがわ
9		自立援助ホーム L'Espoir
10		わんぱく乳児院
11		つむぎの家(児童養護施設)
12		ファミリーホーム coco porta
13	子ども・子育て支援団体	たすけあい ワーカーズもも
14		江戸川こどもオンブズ
15	引きこもり支援団体	駄菓子居場所 よりみち屋
16	ヤングケアラー支援団体	ケアラーパートナー木の根っこ
17		ワーカーズコープ
18	不登校支援団体	東京シュール

子どもに関わる団体への意見聴取

ヒアリング内容・主な意見

赤ちゃんからの性教育の必要性、プレコンセプションケアの大事さが分かる助産師を活用してほしい。
産後支援を調べたり、申し込んだりの手続きが大変。サポートするコーディネーターの立場の人がいると良いのではないか

未就学児に対する発達検査の充実や子育てに関わる機関が、発達相談・発達支援を行っている機関に関する情報を共有し、必要な保護者に対して適切に情報提供する体制を構築してほしい

障害を持つ子どもが参加できる余暇活動がまだまだ少なく、近隣、地域との関わりが持つことが不足している。障害あるなしに関わらず、気兼ねなく、楽しめる場をさらに増やしてほしい

発達障害・軽度知的能力障害が見過ごされ、虐待に至ったのではないかと見受けられるケースをいくつも見てきた。より小さいときに気づかれ、本人と家族を支援する仕組みが必要

日本人と外国人が精神的な垣根を越えて一緒に活動できる企画を望む。また、外国人の子どもと接点を持っている個人や団体のネットワークの形成により日本人の子ども達や外国人の子ども達が一緒に活動できる機会を増やすことで、子どもの健全な成長・利益につながると思う

社会的養護につながった子ども達は一定程度の生活を保障されるが、支援につながらずに家庭の中で貧困や家族の世話に追われる子どもたちをどうやって支援につなげていくか、部署を超えた横断的な連携、団体や地域組織を含めた全体的な支援が必要

乳児院は入所だけでなく、地域の子育て家庭の相談相手として開かれていることを知ってほしい

児童養護施設の認知度を高めると共に意識を向上させ、子どもたちへの偏見等をなくしてほしい

子どもに関わる団体への意見聴取

ヒアリング内容・主な意見

義務教育を終えた年齢から、20代くらいまでの若者を対象とした相談先、事業、支援が不足している。若い世代の居場所や相談先が必要だと感じている。「トー横キッズ」のような「小岩キッズ」も存在していると聞く。子どもの人口が多い江戸川区では早急にこの年齢への支援が必要

子ども食堂について正しく理解してもらい、区内で50ヶ所以上の食堂が活動している情報を広げてほしい。特に、小中学校の子どもたちへの周知に努めていただきたい

子どもの居場所が少ない。子ども食堂は一気に増えたが、日常的な場が圧倒的に少ない。冒険遊び場や子育てひろばなど、地域にいくつもあってほしい

学齢期の子どもたちには、学校外の居場所が少ない。小学生はとくにない。すすくスクールではない場所が必要

学校（とくに担任あるいは校長）によっての対応の差が大きく、それによって左右される

教育現場の専門職（SSW）が何故動かない、動けないのかの理由を明確にし、教育現場がより積極的にこの問題に取り組めるようにしていくこと

在宅で育っている子が増えている時代です。多様な学びのひとつとして、在宅の学びに支援をし、自己肯定感をもって育つ方向性を事業化してほしい

子どもや子どもに関わる大人への継続的なヒアリングの場・自由な意見交換の機会があるといい

子どもたちが家族以外・家庭以外でも心配事を発信SOSができる環境作りを作る事

ヤングケアラーの受皿となっている当施設を「児童育成支援拠点事業」として取り上げて頂きたい

声が聴かれにくい子ども・若者への意見聴取

実施方法

こども計画の検討にあたって、自ら声をあげることが難しい子どもに対して、日頃感じていることなどについてのヒアリングやアンケートを行った。

実施対象

LGBT、特別支援学級、日本語学級、不登校児童、ヤングケアラー、社会的養護経験者、ひきこもり状態（アンケート） 計22名

ヒアリング内容・主な意見（区への要望など）

川が汚いから綺麗になってほしい。よく土手で遊ぶ

バスや電車の乗り方・運賃が分かりやすくなってほしい。縦（南北）に走る電車があるといい

治安がもっと良くなってほしい。ポイ捨てがない街になってほしい

明るい街になってほしい。部活などで帰宅が遅くなるので街灯をもう少し設置して欲しい。

校則をなくして欲しい。中高生ならある程度判断できると思うので、やりたいことをやらせてもいいと思う。大人には校則のようなモノはないと思うので、子どもにだけ制限かけるのはどうなのかと思う

プライバシー配慮のため、公共施設の男子トイレの個室化又は仕切りを設置してほしい

性差や虐待の有無など一人一人の状況がある。レッテル張りしないで個々の違いを踏まえた対応をして欲しい

災害対策をしっかりとやってほしい

声を上げづらい子ども当事者への意見聴取

ヒアリング内容・主な意見

子どもは親を選べず、その親の普通が子の普通になってしまう。学校生活の中などで、みんなと自分の違いを受け止めながら上手く生活している。その違いを受け止められず間違っただま進んでしまう子や親に上手く手を差し伸べて欲しい

室内で遊ぶ場を増やしてほしい。区の施設は全体的に硬い印象があり、区が運営しているということで敷居が高い。区の青い看板がある施設にはあまり子どもは入りたがらない。他自治体ではTikTokなどで上手にPRされていた。魅力的な周知があると良い

各々が安心して過ごせる居場所があった方が良い。今の子どもはSNSなどもあり外に出なくてもそれなりに生活できるが、その子を引っ張りだすような仕組みを区でやってもらえると良い

家にはいたくないことが多く、友達の家やヤングケアラー支援施設にいると気持ちが落ち着く。公園などでもいいが、子ども食堂やみんなが集える施設や居場所がもっと増えると良い

自分が家にいない時に親の病状に変化があった時に頼る人がいないので、周りの方が支援できる環境にあると良い

自分が来日した時に何もわからなかったので、色んな外国人が住めるように外国人を案内する人を増やしてほしい

外国の本をもっと増やしてほしい。大きい中央図書館にしかなく、東葛西図書館にはほとんどない。

小中学生からの計画への意見聴取(こども版パブコメ)

実施方法

子ども向けの計画概要版(案)【資料3-1参照】を区HPに掲載し、各小中学校や共育プラザ経由で周知を行い、当事者である子どもから計画の内容や区の取り組み・方向性について意見を募集した。(期間:9/17~10/31)

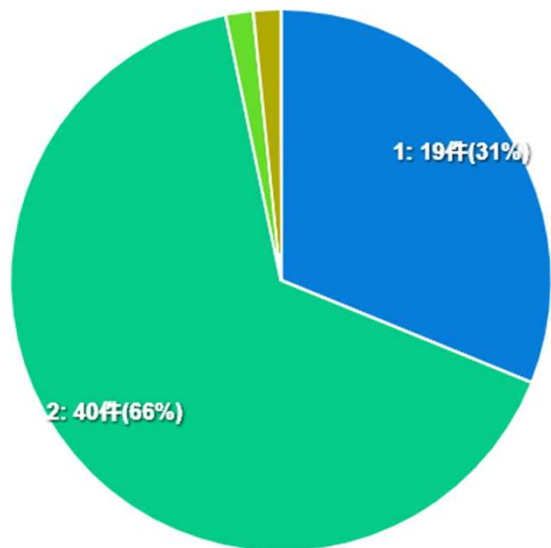
回答者数

小学校低学年:23名 小学校高学年:16名
中学生:18名 その他(保護者等):4名 合計:61名

主な意見

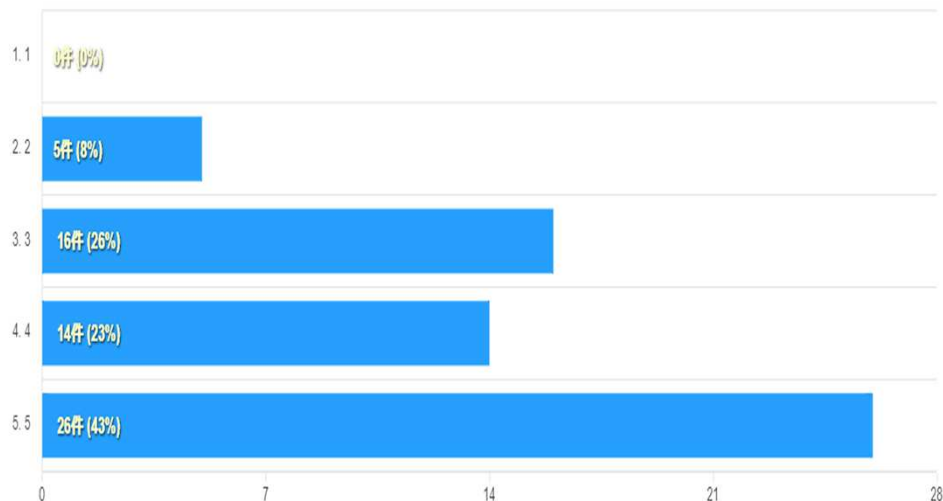
○計画の内容について理解できたか

- 1. よくわかった
- 2. なんとなくわかった
- 3. 少ししかわからなかった
- 4. 全然わからなかった



○この計画の内容についてどう感じたか(5点満点)

平均4.0点



小中学生からの計画への意見聴取(こども版パブコメ)

この計画の中に入れて欲しいことがあれば教えてください

自然との共存(小6)

野球やサッカー、バスケなどができるところが少ない。もう少し用具とかを増やして欲しい(小6)

平和な街づくり(小2)

みんな笑顔(小2)

悩みや不安を大人と一緒に考える計画(小2)

女子が元気よく「僕は～」など周りを気にしないで言って暮らせるような区になって欲しい(小6)

全ての子どもが使える無償の勉強ができる施設を都内にたくさん作る(小6)

共育プラザの建て替え(その他)

友達みんなでゲームをできる場所がほしい(小6)

どこまでが子供対象か分からないので年齢制限などを書いてほしい(小6)

夏祭りなどのイベントをいつも楽しませてもらってるので、これからも力を入れてほしい。(中1)

保育所と老人ホームに無料で入れる施設やイベント、体験、お祭り等を増やしてほしい(小6)

共働き家庭をサポートする仕組み。子どもが寂しくないなど、子ども目線のもの(小4)

既存の枠組みの中でより具体的な取り組み内容を入れて欲しい(その他)

保育園の保育士を増やして欲しいのと、小学校は20人の少人数学級にして欲しい(その他)

小中学生からの計画への意見聴取(こども版パブコメ)

計画を見た上で、まわりの大人や区にしてもらいたい事やお願いしたいことはありますか

安全な町のため、線路下の整備をお願いしたい(小6)

災害に備えて、地震や津波などの安全にも力を入れて欲しい(中1)

公園にサッカーゴールやバスケのゴールなどを増やして欲しい(小6)

子どもの施策の一方で、公園ではボールが使用できないなど、使用が制限されている。閉鎖的なルール決めではなく、オープンに議論してほしい(その他)

花火大会や大きなお祭りをもっと増やしてほしい(中1)

中高生の居場所施設の充実(その他)

小中学校(高校)に、教室や学校が辛い子が安心して過ごせる部屋を作って欲しい(中1)

親や友人関係が辛かったり、なんとなく家に居たくない子の為に泊まれるような、ご飯や電気代などが無料のシェルターを作って欲しい(中1)

こちらの考えなどを聞いてもらって話したい(中1)

子どものことも考えてもらいたい(小6)

小中学生からの計画への意見聴取(こども版パブコメ)

計画を見た上で、まわりの大人や区にしてもらいたい事やお願いしたいことはありますか

ネットにしか居場所がないのにネットが全て危ないなど、価値観を押し付けないでほしい(中1)

いつでも味方だからねみたいな良い人ぶってるのやめてほしい(中1)

女なのに一人称が僕や俺なのを引いたり直そうとするのやめてほしい(中1)

子どもの頃「僕」や「俺」など言って怒られて自分の子どもにダメなど言わないで欲しい(小6)

年上が年下に優しくとかそういう文化やめてほしい(中1)

教科書をデジタル化してほしい(小3)

子どもだけじゃなく、子育て支援や高齢者のための計画も考えて欲しい(小6)

この計画を知ったら他の人にも伝えて、自分も率先してやって欲しい(小6)

ボランティア活動をお願いしたい(小6)

朝の見送り当番など、親の負担が大きい。地域の方でお願いできないか(小4)